



冷たい風が吹き、朝・夕はめっきり寒くなりました。皆さま、体調はいかがですか？この度、わたしにとって、とても嬉しい幸せなことがありました。

ままのりあ立ち上げ当初から通われていたM・Sくんが新潟の敬和高校を受験し、みごと合格したのです。(す)ノ

敬和はこれまで、ままのりあから女の子が一人卒業しています。ちなみに時子先生、さとし先生の卒業した高校でもあります。敬和は、一人ひとりを尊重し個性を重んじ、その子らしさを最大限生かしてくださる学校です。Mくんとママは1年前から受験を決意し、そのための勉強と社会生活に前向きに取り組んできました。ママの了解も得たので、Mくんのことを振り返り、ここに記したいと思います。

小学3年生でままのりあに通い始めた頃のMくんは、気持ちのコントロールが苦手で、攻撃的でイライラが強く、「この子が好き！」と思うと傾きから離れず、トラブルが絶えませんでした。ドクターの診断は自閉スペクトラム症とADHD。小さい頃はADHDの方が強かったと思われませんが、4年生当たりからは自閉の方が強くなってきました。もともとMくんは、人が大好きです。だから自らトラブルを引き起こしていた面もありました。そのMくんが、自閉傾向が強くなるにつれ、一人で引きこもりたい、一人で過ごしたいという気持ちを強く持つようになったのです。そうすると、人が好き、でも一人で居たいという葛藤が生じます。その中で、自分でもどうしたら良いのか？自分の有りようが見えない。という苦しい時期を、彼は長く長く過ごしたのです。

実は来所当時ではてんかんの薬も服用していました。わたしは攻撃性の強くなってきたMくんを見て「てんかんが強くなり薬が合わないのかも？」と思い、ママに静岡のてんかんセンターを紹介しました。静岡のドクターの見立てでは、むしろてんかんではないとのことで、入院し、てんかんの薬を抜く治療をしました。

ままのりあではグループ活動が続けていたのですが、グループではなく個別を改めてお力めしました。ところがMくんはグループじゃないとイヤだとのことで、ままのりあには来なくなりました。

この間、Mくんの来所はなくてもママからはずっと経過報告や相談があり、わたしのお付き合いは続いていました。そしてMくんが中学1年の終わりと、先生、もう入院しかありません。」とママは決断しました。わたしは心からほっとし「ママ、よく決心したね」と共に喜びました。Mくんのママはフットワークが軽く、わたしが「こうしてみたら？行ってみたら？」と言うと「分かりました」と即、行動に移せる方です。

それから10ヶ月、退院したMくんがママと挨拶に来ました。その時のわたしの驚きといたら!!! わたしの知っているMくんとは別人(*°□°*)[↑]凛々しい青年が目の前にいて、「お久しぶりです。その節はお世話になりました。」と語っている。「どうしたの?」「え?Mくん!?!」顔つきも表情も受け答えもしっかりとして、笑顔もステキな女子青年に変身していたのです。

ママと相談し敬和高校を受験したいから、ままのりあで勉強を見てほしいとの依頼を本人から直接受け、感激したことを昨日のように思い出します。それから1年、遅れを取り戻し、苦手意識の強い科目にも取り組み、受験を頑張り、この度の合格を獲得したのです。本人曰く、「入院生活がとても良かった。今は薬の処方がうまくいっている。」とのことです。

裏へつづきます...

～ママからのメッセージです～

発達にアンバランスさを抱えるお子さんを育てているママたち、とても大変だと思います。ウケも本当に大変でした。でも、どうか、希望を捨てないでください。今が
いかに大変でも、必ず道は開ける。希望を持ち続けてほしい。

我が子の在りように真っ正面から向き合い、親としてできることがあるなら全力で応援する。見えないハードルに立ち向かわなければならぬ、戦わなければならぬ場面が何度あったでしょう。落ち込む時もなげきなくなる時も多々あったと思います。それでも、Mくんのママは逃げなかった。わたしの大好きな尊敬するママです。

あまりにも嬉しくて書かせていただきました。年度の終わりを迎えようとしています。グループの移動や個別時間の変更などのご協力、ありがとうございます。



。 おには～そと!

。 ふくは～うち!

まのりあ

〒252-0324

相模原市南区相武台1-21-5

電話 046-244-4537

FAX 046-244-4538